



群馬県産花きのみを使用したアレンジメントを展示 第15回 I F E X で群馬県産花きを P R !

第15回国際フラワー&プランツEXPO (I F E X)

- 期日 : 10月10日(水)~10月12日(金)
- 場所 : 幕張メッセ 2~8ホール
- 主催 : リード エグジビション ジャパン(株) 共催 : (一社)日本花き生産協会 (JFGA)
- 内容 : 花きに関する商談を目的とした展示会

国内最大級の花き関係商談会が開催!

フラワー&プランツ EXPO(以下 IFEX)は、花や植物に関するあらゆる商品が世界中から出展される日本最大級の商談会です。会場には、切花・鉢物・植木・種苗からフラワー雑貨まで、花きに関する様々な産地や企業が出展し、来場者である生花店・園芸店などとの商談が行われます。今年の IFEX では、全国の産地や花き関係企業等 200 社が出展し、開催された3日間で約 18,000 名が来場し、各ブースで商談が行われるなど終始盛り上がりを見せていました。

また、IFEX では様々な花き関係のセミナーやアレンジメントショーが開催されました。初日に開催された假屋崎省吾氏のアレンジメントショーでは、メインの花材となった秋田市の「なまはげダリア」が壇上で紹介され、その後は假屋崎氏の作品が秋田市のブースに展示されるなどして来場者から注目を集めていました。

このような産地の PR が行われる一方で、今回の IFEX では現在流行となっているハーバリウムやドライフラワー等の雑貨やサボテン等の多肉植物の展示も非常に多く見られました。



展示された假屋崎氏の作品

産地の花を使ったアレンジメントで群馬の花をPR!

本県の IFEX への出展は今年で3年目となり、県内でも特色ある3産地(中之条町六合地区、片品村、南牧村)の PR に一貫して取り組んできました。ブースには、中之条山の上庭園の澗上奉夫園長の協力によって作成されたフラワーアレンジメントが展示され、ブースの前を通る来場者の注目を集めました。アレンジメントは3作品あり、1作品につき一産地の花のみを使用して作成され、作品ごとに各産地の特色をしっかりと表現したものとなっていました。

アレンジを見た来場者のなかには、六合地区と南牧村の珍しい花や片品村の高品質なアジサイに強い関心を示し、写真を撮る方や Instagram に投稿をする方なども見られました。また、ブースを訪れたデザイナーや生花店のバイヤーからは、「これらの花はどこで買うことができるのか」「店に仕入れることは可能か」などの質問も寄せられ、花き業界関係者の各産地へ関心の高さが感じられました。



各産地の花を使ったアレンジ

フラワーアレンジメントの主な使用花材一覧(産地別)

産地	主な使用花材	品目数
中之条町 六合地区	オランダセダム、クロホウズキ、フロックス、ワレモコウ、ホトギス、クサボタン、秋明菊、フジバカマ、アマランサス、ドリコス 等	約30品目
片品村	秋色ミナヅキ、グリーンアナベル、ライムライト、秋色西洋アジサイ	4品目
南牧村	ナンテン、ウメモドキ、ワレモコウ、アロニア、リシマキア(紅葉)	5品目



職員による産地や花の説明